

※実際の出願時には、冊子体の募集要項を入手のうえ必要書類を作成して出願してください

平成30年度
第2次
(エネルギー社会・環境科学専攻)
修士課程
学生募集要項

(社会人特別選抜を含む)

京 都 大 学 大 学 院
エ ネ ル ギ ー 科 学 研 究 科

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

TEL 075-753-9212

E-mail energykyoumu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

目 次

| | |
|--|---|
| I. 募集人員 | 2 |
| II. 出願資格 | 2 |
| III. 出願資格の審査（出願資格9、10による出願希望者のみ） | 2 |
| IV. 出願 | 3 |
| i. 出願書類等 | 3 |
| ii. 募集要項の請求 | 4 |
| iii. 出願手続 | 4 |
| V. 入学者選抜方法、学力検査日程及び合格者発表 | 4 |
| VI. 受験票 | 5 |
| VII. 入学手続 | 5 |
| VIII. 入学料及び授業料 | 5 |
| IX. 注意事項 | 5 |
| X. 受験要領 | 5 |
| ◎募集分野一覧 | 5 |

○ 出願書類（様式）

○ エネルギー社会・環境科学専攻「分野及び研究内容説明」（平成29年7月1日現在）

○ 京都大学構内図（巻末）

本研究科の修士課程は、大学院設置基準第4条第4項にいう博士課程の前期2年の課程である。

I. 募集人員

| | |
|----------------|-----|
| 専攻 | |
| エネルギー社会・環境科学専攻 | 11名 |

※募集分野の研究分野については志望分野一覧を参照のこと。

II. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者、あるいは平成30年3月末をもって該当する見込みの者

1. 大学を卒業した者（注1）
2. 学校教育法第104条の第4項の規定により学士の学位を取得した者
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者（注2）
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者（注2）
5. 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者（注2）
6. 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者（注2）
7. 文部科学大臣が指定する専修学校の専門課程を文部科学大臣が定める日以後に修了した者（注2）
8. 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）（注2）
9. 大学に3年以上在学した者（学校教育法第102条第2項の規定により、これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、本学において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者（注3）
10. 本学において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者（注3）

注1：学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者

注2：出願資格3、4、5、6、7、8により出願する者は、提出する書類等について**平成29年10月27日（金）**までに、エネルギー科学研究科事務室（総合研究8号館1階）へ必ず問い合わせること。

注3：出願資格9、10により出願する者は、事前に出願資格の審査を受けなければならない。

III. 出願資格の審査（出願資格9、10による出願希望者のみ）

出願に先立ち資格審査を行うので、次の書類を、**平成29年10月27日（金）**午後5時までにエネルギー科学研究科事務室（総合研究8号館1階）へ提出すること。

郵送による場合は、封筒の表に「エネルギー科学研究科修士課程出願資格認定申請」と朱書き、必ず書留便で**平成29年10月27日（金）**午後5時必着のこと。

[出願資格審査提出書類]

| | |
|----------------|---|
| 1. 出願資格認定申請・調書 | (出願資格9, 10該当者) 所定の用紙 |
| 2. 推薦書 | (出願資格9該当者) 在籍する大学が作成し、厳封したもの（様式随意） |
| 3. 成績証明書 | (出願資格9該当者) 在籍する大学が作成し、厳封したもの (出願資格10該当者) 最終出身学校が作成し、厳封したもの |
| 4. 教育課程表 | (出願資格9該当者) 在籍する学科等の開講科目の講義内容等が記載されたもの |

1. 出願資格9により、認定申請をした者には、書類審査等を行う。
2. 出願資格10により、認定申請をした者には、書類審査の後、大学卒業程度の基礎学力について、筆記試験（理科・数学・人文社会・英語）及び口頭試問（専門科目）を行う。
3. 試験及び試問は、**平成29年11月6日（月）**に、エネルギー科学研究科において行う。
4. 資格審査の結果は、**平成29年11月10日（金）**に申請者あて郵送により通知する。

IV. 出願

i. 出願書類等

| | |
|----------------------------|---|
| 1. 入学願書 | 所定の用紙 |
| 2. 受験承諾書 | 他の大学院在学学生は所属研究科長の、また官公庁・会社等の在職者は所属機関の長の承諾書を提出すること。（様式随意） |
| 3. 住民票もしくは在留カード（※外国人留學生のみ） | 外国人留學生は、在留資格、在留期間の記載されたものを提出すること。なお、出願時に提出できない者は、パスポートのコピー（顔写真のあるページ）を提出し、入学時までには必ず本書類を提出すること。 |
| 4. 入学検定料振込金 受付証明書貼付台紙 | <p>所定の用紙（国費留學生は不要） 入学検定料30,000円 振込期間：平成29年11月13日（月）～11月21日（火） （期限当日の収納印有効・期間外取扱不可）</p> <p>（振込方法）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 所定の振込依頼書のご依頼人欄（3ヶ所）に出願者の氏名等を記入し、切り離さずに、金融機関（ゆうちょ銀行、郵便局除く）の窓口を持参して、入学検定料を振り込むこと。ATM（現金自動預払機）やインターネット等での振込は不可。 ② 三井住友銀行の本・支店から振り込む場合の振込手数料は不要。その他の金融機関から振り込む場合の振込手数料は出願者負担。 ③ 振り込み後、「入学検定料振込金受付証明書」及び「入学検定料振込金（兼手数料）受取書」に収納印が押印されていることを確認して受け取り、「入学検定料振込金受付証明書」（左半分）を「入学検定料振込金受付証明書貼付台紙」に貼付すること。（領収印がない場合、願書を受理しない。）「入学検定料振込金（兼手数料）受取書」（右半分・収入印紙貼付のもの）は、出願者が保管。 <p>※平成23年3月に発生した東日本大震災及び平成28年4月に発生した熊本地震による災害救助法適用地域において、主たる家計支持者が被災された方で、罹災証明書等を得ることができる場合は入学検定料を免除することがあります。 詳しくは、平成29年11月7日（火）までに、エネルギー科学研究科教務掛まで問い合わせてください。</p> |
| 6. 受験票送付用封筒 | 所定の封筒 受験票を受け取る居所の郵便番号、住所、氏名を明記のうえ、252円切手をはること。 |
| 7. 連絡受信用シール | 所定の用紙 「合格通知等送付用」には平成29年12月の、「入学手続書類送付用」には平成30年2月末の連絡先：郵便番号、住所、氏名を明記のこと。住所変更があった場合は、速やかに届け出ること。 |

※いかなる場合においても入学検定料の払い戻しには応じない。

出願資格2に該当する見込みの者は、上記書類のほか、学士の学位授与申請予定である旨の証明書（様式随意：学位が得られないこととなった場合は、速やかに通知する旨の記載があるもの）を提出すること。

◎社会人特別選抜枠に出願できる者は、官公庁・企業等に勤務し、入学後も引き続きその身分を有し、出願資格の各号のいずれかに該当する者とする。なお、出願者は、上記書類のほか、次頁の書類を提出すること。

| | |
|-----------|-------------------------------------|
| 1. 推薦書 | 所定の用紙（所属の長又は指導的立場にある者が作成したもの） |
| 2. 実務実績調書 | （在籍中に行った専攻分野の関連する実務実績を記載すること）（様式随意） |

ii. 募集要項の請求

募集要項及び出願書類を郵送で請求する場合は、400円切手を貼付した返信用封筒（角2サイズ26cm×35cm）に住所・氏名・郵便番号を明記したものを同封のうえ、「エネルギー科学研究科修士課程募集要項請求」と朱書し、出願書類等提出（送付）先に請求すること。

iii. 出願手続

1. 出願者は、出願書類等を下記の出願書類等提出（送付）先に提出又は郵送すること。
2. 郵送による場合は、封筒の表に「エネルギー科学研究科修士課程願書」と朱書し、必ず書留便とすること。

【出願書類受理期間】

（持参の場合）

平成29年11月21日（火） 受付時間：午前10時から午後5時まで。

（郵送の場合）

必ず書留郵便とし、平成29年11月21日（火）午後5時までに必着のこと。

ただし、平成29年11月18日（土）以前の発信局消印がある書留速達郵便に限り、期限後に到着した場合においても受理する。

※平成30年度のエネルギー科学研究科のいずれかの専攻の入学試験に合格している者は出願できない。

【出願書類等提出先】

（持参の場合）

エネルギー科学研究科事務室（総合研究8号館1階）に持参すること。

（郵送の場合）

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院エネルギー科学研究科
TEL 075-753-9212（直通）

V. 入学者選抜方法、学力検査日程及び合格者発表

入学者の選抜は、出願書類の内容、学力検査の成績を総合して行う。学力検査は、次の日程によりエネルギー科学研究科において行う。

| 専攻 | 月日 | 12月9日（土） | |
|--------------------|-------------|----------|------|
| | | 時間 | 試験科目 |
| エネルギー社会・環境 科学専攻 | 9:00～11:00 | | 論述 |
| | 11:30～13:00 | | 英語 |
| | 14:00～18:00 | | 口頭試問 |

注意事項掲示日：試験室及び受験に関する注意事項は、受験票と同時に送付するとともに、平成29年12月8日（金）に、エネルギー科学研究科事務室前（総合研究8号館1階）に掲示する。

合格発表日：平成29年12月21日（木）午後3時にエネルギー科学研究科掲示板に掲示するとともにエネルギー科学研究科インターネットホームページに掲載する。

「ホームページアドレス：<http://www.energy.kyoto-u.ac.jp/>」

また、受験者全員に合格受験番号一覧を郵送する（電話等による問い合わせには応じない）。

VI. 受験票

受験票は提出された所定の封筒により出願後1週間程度で郵送する。

VII. 入学手続

合格者の入学手続の詳細については、平成30年2月末に郵送により通知する。

VIII. 入学料及び授業料

入 学 料 282,000円（予定）【国費留学生は不要】

*入学時に改定されることがある。

授 業 料 年額 535,800円（予定）【国費留学生は不要】

*入学時に改定されることがある。

*在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用される。

IX. 注意事項

1. 障害等があつて、受験にあたり特別の配慮を必要とする者は、出願に先立ち電話等で申し出ること。
2. 出願手続後は、いかなる事情があつても出願書類記載事項の書き換えはできません。
3. 出願書類等に記載された個人情報（成績判定に関する情報を含む）は、①入学試験の実施、②入学手続、奨学金制度等、③入学者の受入準備の目的において、「京都大学における個人情報の保護に関する規程」の定めるところにより取り扱うものとする。

X. 受験要領

試験方法の詳細は、以下のとおりである。受験者は、本要領に従い受験に臨むこと。

英 語：辞書などの持ち込み不可。

論 述：エネルギー社会・環境科学に関連して与えられたテーマについて論述。

※ 電卓などの持ち込みは不可。

◎募集分野一覧

願書の志望分野順位の欄に志望専攻の分野記号を志望順に記入すること。

なお、第1志望の分野が不合格となっても、第2志望以下の分野で合格となることがあるので、よく考えて書くこと。その際、記入していない分野があれば、成績が上位でも不合格となることがあるので、志望専攻のすべての分野を記入することが望ましい。

エネルギー社会・環境科学専攻

| 分野記号 | 研 究 分 野 |
|------|--|
| S-1 | 社会システム工学、エコプロセス、環境材料、エネルギー・資源の有効利用と評価、エネルギー・環境教育 |
| S-2 | エネルギーシステム学、エネルギー環境学、エネルギー・金属統合資源評価、政策学、持続可能性 |
| S-3 | バイオリファイナリー、超臨界流体、熱分解、バイオエタノール、バイオディーゼル、バイオケミカルス |
| S-4 | ヒューマンインタフェース、拡張現実感、情報行動計測、知的生産性評価、環境配慮行動 |
| S-5 | 大気環境科学、エアロゾル、有害大気汚染物質、環境動態、環境影響評価 |
| S-6 | エネルギー政策、原子力エネルギー、エネルギー安全保障、核セキュリティ、核不拡散、ベストミックス |
| S-7 | エネルギー社会教育、災害科学、地震ハザード評価、防災戦略 |
| S-8 | コミュニケーション、情報ネットワーク、公共圏、再帰的近代化、リスク社会 |

平成29年9月